

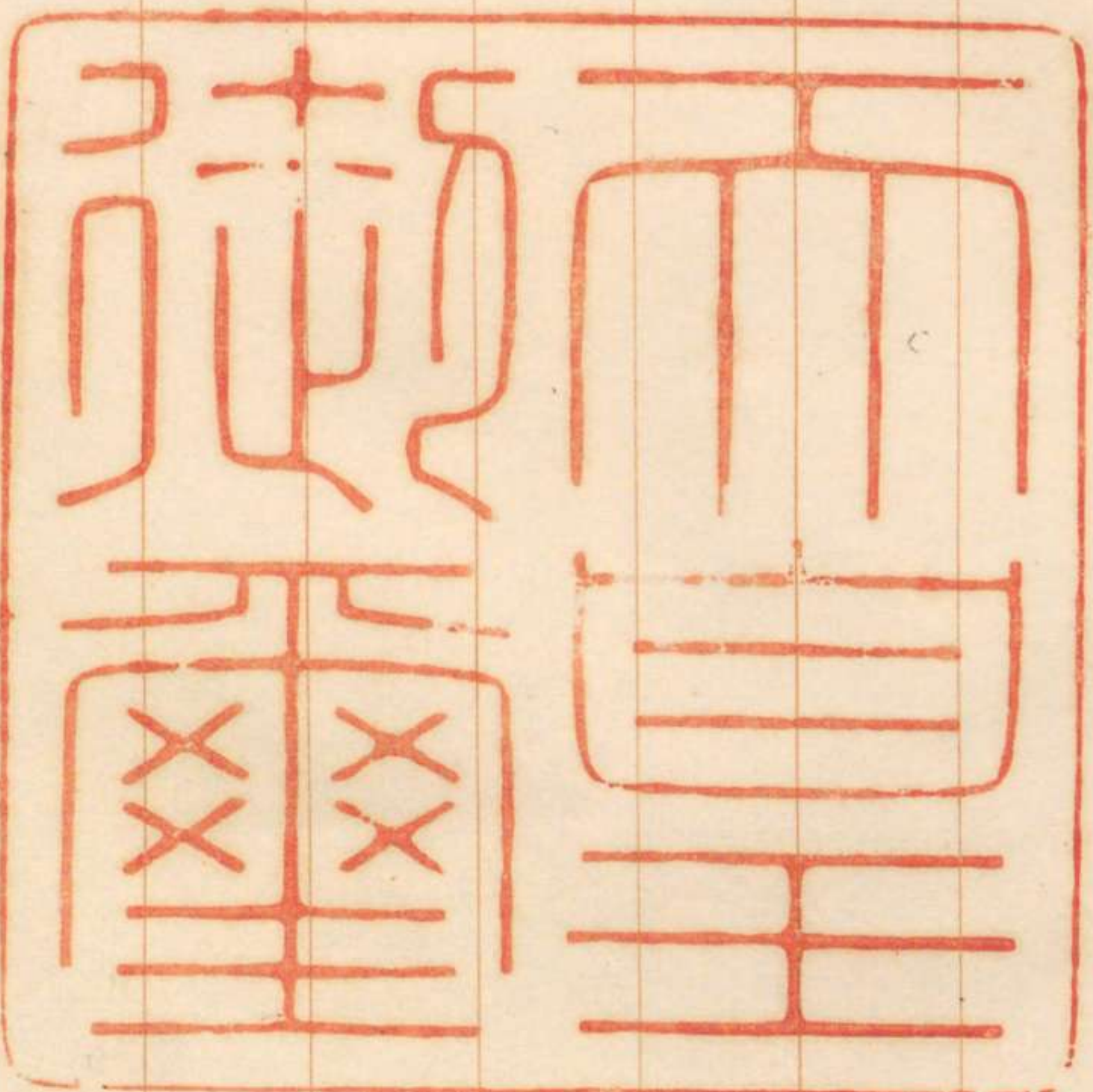
法保月十六号

徳内大外目



朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル外國ニ於テ
流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造
及横造ニ関スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

睦仁



明治三十八年三月十八日

内閣總理大臣伯爵桂太郎
内務大臣子爵芳川顯正
大藏大臣男爵曾補荒助
外務大臣男爵小村壽太郎
司法大臣
波多野敬直

法律第六十六號

第一條 流通セシムルノ目的ヲ以テ外

國ニ於テノ流通スル金銀貨紙幣銀
行券帝國官府發行ノ證券ヲ偽造シ又
ハ變造シタル者ハ重懲役又ハ輕懲役
ニ處ス

金銀貨以外ノ硬貨ヲ偽造シ又ハ變造
シタル者ハ輕懲役又ハ二年以
上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二條 流通セシムルノ目的ヲ以テ偽

造又ハ變造ニ係ル前條ニ記載シタル
物ヲ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ
前條ノ例ニ同シ

第三條 情ヲ知テ偽造又ハ變造ニ係ル
第一條ニ記載シタル物ヲ行使シ若ハ
流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタ
ル者ハ輕懲役又ハ六月以上五年以下
ノ重禁錮ニ處ス

收得シタル後其ノ偽造又ハ變造ナル
コトヲ知テ行使シ若ハ流通セシムル

ノ目的ヲ以テ授付シタル者ハ其ノ名
價三倍以下ノ罰金ニ處ス但シ二圓以
下ニ降スコトヲ得ス

第四條 第一條ノ偽造又ハ變造ノ用ニ
供シ若ハ供セシムルノ目的ヲ以テ器
械若ハ原料ヲ製造シ、授受シ若ハ準備
シ又ハ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者
ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス
第五條 販賣スルノ目的ヲ以テ第一條
ニ記載シタル物ニ紛ハシキ外觀ヲ有

スル物ヲ製造シ又ハ帝國若ハ外國ニ
輸入シタル者ハ二年以下ノ重禁錮又
ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ニ記載シタル物ヲ販賣シタル者
ハ前項ノ例ニ同シ

第六條 前數條ニ規定シタル輕罪ヲ犯
サムトシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯
罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ禁
錮ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以

下ノ盤規

第八條 本

ル者偽造

載シタル物

又ハ第五條

付セラレサル

ルトキハ主刑

第九條 本法

國ニ於テ確定裁判ヲ經タル者ト雖更

ニ之ヲ處罰スルコトヲ妨ケス但シ犯

ニ係ル第一條ニ記
載シタル物ノ未タ授
付セラレサル者ハ主
刑ニ於テ官ニ自首シタ
ルトキハ主刑ヲ免除
スルコトヲ得

又ハ第五條ニ規定
シタル罪ヲ犯シ外
國ニ於テ確定裁判ヲ
經タル者ト雖更ニ
之ヲ處罰スルコトヲ
妨ケス但シ犯

載シタル物ノ未タ授
付セラレサル者ハ主
刑ニ於テ官ニ自首シタ
ルトキハ主刑ヲ免除
スルコトヲ得

又ハ第五條ニ規定
シタル罪ヲ犯シ外
國ニ於テ確定裁判ヲ
經タル者ト雖更ニ
之ヲ處罰スルコトヲ
妨ケス但シ犯

又ハ第五條ニ規定
シタル罪ヲ犯シ外
國ニ於テ確定裁判ヲ
經タル者ト雖更ニ
之ヲ處罰スルコトヲ
妨ケス但シ犯

又ハ第五條ニ規定
シタル罪ヲ犯シ外
國ニ於テ確定裁判ヲ
經タル者ト雖更ニ
之ヲ處罰スルコトヲ
妨ケス但シ犯

又ハ第五條ニ規定
シタル罪ヲ犯シ外
國ニ於テ確定裁判ヲ
經タル者ト雖更ニ
之ヲ處罰スルコトヲ
妨ケス但シ犯

内

降

スル物ヲ製造シ又ハ帝國若ハ外國ニ
輸入シタル者ハ二年以下ノ重禁錮又
ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ニ記載シタル物ヲ販賣シタル者
ハ前項ノ例ニシ

第六條 前數條ノ規定シタル輕罪ヲ犯
サムトシラキテ遂ケサル者ハ未遂犯

罪ノ例ニ照シテ處斷ス
第七條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ禁
錮ノ刑ニ

ハ六月以上二年以



下ノ監視ニ付ス

第八條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シタ
ル者偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記
載シタル物ノ未タ行使セラレサル前
又ハ第五條ニ記載シタル物ノ未タ授
付セラレサル前ニ於テ官ニ自首シタ
ルトキハ主刑ヲ免除スルコトヲ得

第九條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ外
國ニ於テ確定裁判ヲ經タル者ト雖更
ニ之ヲ處罰スルコトヲ妨ケス但シ犯

人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ
全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキ
ハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得
第十條 偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ
記載シタル物及第五條ニ記載シタル
物ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何
人ノ所有ヲ問ハス行政ノ處分ヲ以テ
之ヲ官沒ス
官沒ニ關スル手續ハ別ニ命令ヲ以テ
之ヲ定ム

第十一條 偽造又ハ變造ニ係ル第一條
ニ記載シタル物及第五條ニ記載レタ
ル物ニハ明治九年布告第五十七號ヲ
準用ス

附 則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十七年勅令第百七十七號ハ之ヲ
廢止ス

